

国道45号 摂待道路工事 大成・銭高・東コン特定建設工事共同企業体

生コンクリートの安定供給により復興を推進！



1 目的・概要

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の太平洋沿岸を結ぶ延長 359kmの自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトに位置付けられた復興道路です。このうち摂待道路工事は、田老北IC(仮称)と岩泉龍泉洞IC間の延長 1,355mの摂待第一トンネル(仮称)、橋長 234mの摂待大橋(仮称)、延長 1,772mの摂待第二トンネル(仮称)の工事です。

本工事では、周辺の復興道路の生コンクリートの安定供給のための公共プラントを宮古市田老地区に整備し、平成 26 年 8 月 31 日から稼働を開始しました。プラントは、1日当たり 500m³(25m プール3杯分)の製造能力を持ち、約15万 m³の生コンクリートを製造します。製造する生コンクリートは、周辺地区の 11 箇所のトンネル・橋梁工事に供給します。



2 現場を支える技術 ～～ 地域から親しまれるプラントを目指して ～～

本プラントは復興道路の整備事業のスピードアップのために、地域のみなさまからの理解を得ながら、生コンクリートの安定供給する必要があります。そのために、公共プラントを身近な存在と感じてもらうために、近隣の小学校の児童のみなさまから、プラントにプリントするPR看板のデザインを募集し、プラント外壁にプリントしました。



生コンクリート製造フロー

【PR看板のデザインをプラントにプリント】

田老第三小学校6年生の畠山愛奈さんの作品を選び、PR看板をバッチャープラントの外壁にプリントしました。

【体験学習の開催】

平成 26 年 8 月 26 日(火)に、田老第一中学校の総合学習の一環で、生コンクリート製造体験学習会を開催しました。



プラントにプリントされたPR看板



生コンクリートの流動性を確認する試験を体験

3 工程・スケジュール、現場の見頃

公共プラントの製造は、平成 27 年 7 月～平成 28 年 9 月が最盛期になります(予定)。

工種	平成26年度												平成27年度												平成28年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
配合試験	[Green bar]																																			
プラント設置工	[Green bar]																																			
試運転													[Green bar]																							
製造・出荷													[Green bar]												[Green bar]											
プラント撤去工																									[Green bar]											

生コンクリートの製造が最盛期！

KEY PERSON

私達は三陸沿岸道路(復興道路)の早期開通に向け、公共生コンクリートプラントを設置し、製造・運営管理を行っております。小中学校の生徒さんへの体験学習の場や、建設系の学生さんへのインターシップの場を提供し、地域の皆様と一体となったプラントを目指していますので、是非、私たちのプラントにいらしてください。また、摂待第1・第2トンネルや摂待大橋の工事も並行して行っていますので、工事見学も大歓迎です。

大成・銭高・東コン特定建設工事
共同企業体
作業所長

小原 克己



一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部
仙台市青葉区本町2-2-3 TEL 022-221-7810 FAX 022-265-9465